

2. 接種運営 パート2：接種日の動き

2-6. 接種（1/3）

- ・被接種者の方に対して、予診票を用いて問診等を実施し、接種の意思の有無を確認してください

手順		イメージ
1. 予診票が適切に記入されていることを確認し、予診票を用いて問診・診察を行い健康状態が正常であることを確認してください		
2. 予診票の「医師記入欄」に接種可否・署名等を記入してください		
3. 被接種者の方に、接種の意思の有無を確認し、予診票の「新型コロナウイルスワクチン接種希望書」に接種同意の署名等をご記入頂いてください		新型コロナウイルスワクチン接種希望書（医師の診察の結果、接種が可能と判断された後に記入してください。） 医師の診察・説明を受け、接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種希望します。 ☐ 接種を希望します ・ ☐ 接種を希望しません この予診票は、接種の安全性の確保を目的としています。 このことを理解の上、本予診票が市区町村、国民健康保険中央 年 月 日 被接種者自署 （※自署できない者は代筆者が署名し、代筆者氏名及び短接種者との関係を記載）

上記の一連の動作は、「ファイザー新型コロナウイルスワクチン医療従事者専用サイト」にて動画で視聴いただけます。
（ホーム-> ワクチンの取り扱い-> ワクチンの取り扱い動画を参照ください）

掲載内容は2021年1月時点の情報です

2. 接種運営 パート2：接種日の動き

2-6. 接種（2/3）

- ・被接種者の同意（署名）と医師の署名を確認した上で、上腕の三角筋に接種してください

手順	イメージ
5. 被接種者の体位を整えてください ※接種部位を露わにし、肘を外側に張り出してください	
6. 接種部位（上腕の三角筋）をアルコール綿で消毒してください	
7. 上腕の三角筋に筋肉内接種してください ※筋肉内接種の詳しい手技については別途動画による解説資料を準備いたします	
8. 被接種者に声かけし、しびれ感や、激しい痛みがないかを確認してください	

上記の一連の動作は、「ファイザー新型コロナウイルスワクチン医療従事者専用サイト」にて動画で視聴いただけます。
(ホーム-> ワクチンの取り扱い-> ワクチンの取り扱い動画を参照ください)

2. 接種運営 パート2：接種日の動き

2-6. 接種（3/3）

- ・接種後は、被接種者の方に各種案内をしてください
- ・15～30分程度は、接種を受けた施設で待機して頂いてください

手順	イメージ
9. 接種シールを予防接種済証と予診票に貼り付けて、予防接種済証と予診票（本人控え）を被接種者の方にお渡ししてください	予防接種済証用 接種シール  予診票用 接種シール 
10. 被接種者に対して、接種後の案内をしてください (未成年者の場合、保護者の方にもご案内ください) ・接種後15～30分程度は接種を受けた施設等で待機すること ※待機時間を利用して、予防接種済証のQRコードをスマートフォンで読み取ること、被接種者向けサイトにアクセスしたり、接種記録を残したりすることができず ・いつもと違う体調の変化や異常があれば、すぐに申し出ること ・注射した部分は清潔に保つこと ・接種当日の入浴は差支えないが、その際には注射した部分はこすらないこと ・当日の激しい運動は控えること など	

上記の一連の動作は、「ファイザー新型コロナウイルスワクチン医療従事者専用サイト」にて動画で視聴いただけます。
(ホーム-> ワクチンの取り扱い-> ワクチンの取り扱い動画を参照ください)